

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回高崎学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年5月23日（金）開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立高崎中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡田 克司、岡田 良一、長谷川 清恵、田中 雄輝、 勝又 みゆき、常國 悠香 高崎中学校：校長 片山 敬介、教頭 木村 文彦 教務主任 古國 芳彦 荃崎第一小学校：校長 小澤 光幸、教頭 三橋 伸孝、 教務主任 千葉 直樹		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 小島 健 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 中山 克巳		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書及び委嘱状交付 3 行政説明「つくば市コミュニティ・スクールについて」 4 会長・副会長の選出 5 協議 (1)学校運営の基本方針 (2)地域と学校の連携事業 予算計画について (3)熟議「コミュニティ・スクールとして地域が育てていきたい			

	児童生徒に関する手立てについて」 (4)「家庭教育学級モデル校事業」について
6	閉会 <審議内容> 1 開会 岡田克司会長：令和7年度第1回高崎学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議を進行するにあたり書記を高崎学園の古國委員にお願いします。→承認 2 任命書の交付及び委嘱状の交付 3 行政説明 木村委員：つくば市コミュニティ・スクールについて教育局生涯学習推進課社会教育主事、村上先生から御説明があります。 ・つくば市教育大綱で位置づけられている、一人ひとりが幸せな人生を送るということを最上位の目標としている。 ・保護者・学校・地域行政、これらみんなが社会全体で子どもたちを支えるという位置付けになる。 ・コミュニティ・スクールは、地域とともに子どもを育む学校ということにとらえている。 ・つくば市の特徴として、小学校、中学校に1つのコミュニティ・スクールを設置。協議会の中の話合いを「熟議」という言葉を使うことが多いが、これは、「よく話し合う」ということ。 ・市のコミュニティ・スクールの4つの機能 ①校長先生が作成する学校運営の基本方針を委員の皆様に承認をしていたく機能 ②学校運営について、校長に意見を述べることができる機能 ③教育委員会に意見を述べるができる機能 ④学校評価で、子どもたちのアンケートで学校の課題を見出してそれに対して話し合うことができる機能 ・コミュニティ・スクール協議会は、法的な位置付けがある。特別な職の公務員という立場で、その地位を政治活動、宗教活動等に利用する行為をしてはならないという責務がある。 ・規則の第4項には、「委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする」とある。 ・牛久市の取り組み 学校に行きづらい子どもたちの居場所をつくる話や農業体験ができるよう、子どもたちに体験してもらうという話。 ・コミュニティ・スクールの働き ①育てたい子ども像を協議会で話し合う。昨年度、高崎中学校で茨城弁の授業を行い、コミュニティ・スクール協議会で話し合った内容が地域学校協働活動として、郷土愛を育てることにつながる。 ②地域学校協働活動推進員（コミュニティ・スクールコーディネーター）

が中心になって活動につなげていく。今年度、高崎学園では、長谷川委員と中山委員に地域学校協働活動推進委員の役割を担ってもらおう。

4 会長・副会長の選出

木村委員：会長・副会長の選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則、第5条第2項に、会長及び副会長は委員の選により定めるとあります。昨年度同様、岡田克司委員に会長を、岡田良一委員に副会長を引き続きお願いしたいと思います。→承認

5 協議

(1) 学校運営の基本方針

【学園グランドデザイン】

片山委員：学園目標は「ともに学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

目標を達成するために3つの観点で子どもたちを育てたい。

- ①自ら学習に取り組める児童・生徒
- ②思いやりと協調性のある児童・生徒
- ③心身ともにたくましく生きる児童・生徒

・ 茎崎第一小学校と高崎中学校のグランドデザインの説明

説明後、学園グランドデザインの承認を受ける。

(2) 予算計画について

各学校の予算計画書の説明

(3) 熟議「コミュニティ・スクールとして地域が育てていきたい児童生徒に関する手立てについて」

ファシリテーター：長谷川委員

2つのグループに分けて熟議（模造紙にまとめる）

Aグループ…岡田副座長、中山委員、常國委員、小澤委員、三橋委員、千葉委員

Bグループ…岡田座長、長谷川委員、田中委員、勝又委員、片山委員、木村委員、古國委員

①情報共有及び意見交換 40分間熟議

②グループごとの発表

Aグループ（茎崎第一小学校：千葉委員発表）

- ・ 大きな柱として交流をいかにしてつくっていくか。
- ・ 放課後の時間にプレイバンク活用。その一方ですべての児童へ平等にできる機会はないか。人材バンクをつくりながら進めていく。
- ・ 今年度日課を変えたことによって、一年生が単独で帰る時間ができてしまった関係で、地域の交通指導などのボランティア協力を求め、注意が必要なところに立ってもらおう。
- ・ 学校から、データのみでなく紙媒体でも協力の要請をしていく必要があるのではないか。情報提供において、地域に知っていただくためにはデータのみでなく、回覧板などで伝えていく必要がある。

- ・交流の場で地域の方と積極的に関わっていく機会を設けていく。

Bグループ（高崎中学校：古國委員発表）

- ・創立40周年の記念式典として、カピオを借りて、大洗高校のマーチングバンドに来ていただき盛大に開催する予定。
- ・「オシエルズ」という日本一学校を回るお笑いコンビに学校に来ていただき講演会を進めていく。（いじめといじりの違いなど）
- ・不登校への理解。不登校のお子さんが「学校に来る」がゴールだと苦しいものがある。新しい居場所づくり、いろいろな選択肢をつくってあげたい。また、保護者全体に不登校についての理解を深めていきたい。
- ・コミュニケーション能力アップ、親子で話題を増やしていく必要がある。カヌー体験やさつまいも掘り体験など、親子で体験する活動で共通の話題をつくっていく必要がある。
- ・生徒が教える。生徒が得意なものを、例えば地域のおじいちゃんにパソコンを教えるなど、コミュニケーション能力が高まり、自己有用感が上がってくるのではないかな。

長谷川委員：今、急務として考えているのが高崎十字路を通る子どもたちを誰

か見守ってほしい。火曜日、金曜日に立っていただける方を募集したいと思う。それに向けてチラシを作るなどしていきたい。

(4) その他

(1) 家庭教育学級について

①岡田会長による任命

家庭教育部会長：長谷川委員 家庭教育部会員：常國委員
→承認

②「家庭教育学級に関するアンケート結果」について

長谷川家庭教育部会長による説明

- ・家庭教育学級開催希望、63.3%が平日開催、36.7%が土日開催
- ・学びたいテーマ「魅力のある家庭教育」の開催に向けて話していきたい。
- ・家庭教育学級の内容として、成長に伴う関わり方、しつけや叱り方について小学生の保護者が期待している。また、家庭学習の進め方について、例えば算数に関して学校の教え方を知りたい。
- ・中学校では、スマホの使い方、SNSのやり方について関心があった。
- ・保護者が集まって意見を共有する家庭教育としてあった方がいいと思う。

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和 7 年度第 1 回高崎学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和 7 年 5 月 23 日（金）

14:00～

場所：高崎中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 任命書及び委嘱状交付

3 行政説明

4 会長・副会長の選出

5 協 議

(1) 学校運営の基本方針

- ・ 高崎学園
- ・ 荃崎第一小学校
- ・ 高崎中学校

(2) 地域と学校の連携事業 予算計画について

- ・ 荃崎第一小学校
- ・ 高崎中学校

(3) 熟議

テーマ「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい
児童生徒に関する手立てについて」

(4) その他

- ・ 質疑

6 閉 会

7 第 1 回 C S 協議会における家庭教育部会

令和 7 年度 高崎学園コミュニティ・スクール協議会
(第 1 回：5 月 2 3 日 金曜日)

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	渡辺 峰子	市議会議員
2	(2) 児童・生徒の保護者	田中 雄輝	高崎中 P T A 会長
3	(2) 児童・生徒の保護者	勝又 みゆき	高崎中 P T A 副会長
4	(2) 児童・生徒の保護者	飯田 顕弘	荳崎第一小 P T A 会長
5	(2) 児童・生徒の保護者	常國 悠香	荳崎第一小 P T A 副会長
6	(3) 地域学校協働活動推進員	長谷川 清恵	元学校評議員
7	(3) 地域学校協働活動推進員	中山 保典	
8	(4) 学識経験者	岡田 克司	元学校長
9	(4) 学識経験者	岡田 良一	元学校長
10	(5) 各学校長	片山 敬介	高崎中校長
11	(5) 各学校長	小澤 光幸	荳崎一小校長
12	(6) 教職員	木村 文彦	高崎中教頭
13	(6) 教職員	古國 芳彦	高崎中教務主任
14	(6) 教職員	三橋 伸孝	荳崎一小教頭
15	(6) 教職員	千葉 直樹	荳崎一小教務主任

本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

学園目標

「ともに学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」

つくば市 学校教育指導方針

学びたくなる楽しい学園・学校
自己実現できる学校
みんなで支え合い、
みんなが生き生きした学校

本校目標

「自学・自律の心を育て、社会に貢献する生徒の育成」

自学の心を育てる

社会貢献の心を育てる

自律の心を育てる

自己実現に向けたキャリア教育の推進

中長期目標

- 個別最適な学びと協働的な学びへの実現を目指した学習指導の展開を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図り、それらを活用して自ら考え、判断し表現することで課題解決力を育む。
- 学年・学級経営を基盤として、基本的な生活習慣を身に付けさせ、明るく礼儀正しい高崎中生を育てる。

組織目標

学校は生徒が主役

教師は授業で勝負

- 授業を通して、関わり合い、学び合う学習集団を育てる。
 - ・「関わる力」の質の向上を図り、「教え」から「探究的な学び」への転換を図る。
 - ・業務の効率化を図り、生徒に関わる時間を増やす。
- 互いの良さを認め合い、高め合う集団をつくる。
 - ・安全で、安心して生活できる居場所づくり
 - ・一人一人が主役となって活躍できる場づくり

各教科と生徒指導を一体化させた
授業づくり・集団づくり

めざす教師像

- 人間性豊かな教師
- 信頼される教師
- 行動し実践する教師

働き方改革の推進（業務の効率化を図り、整頓関わる時間を増やす）

- スクリル、teams、LEBER、G4th 等を活用した情報共有・情報処理
- 地域と学校の連携・協力による文化・スポーツ活動の推進(KTC)

CHECK

時を守り、場を清め、礼を正す～具体的な場面での生徒指導～

安全・安心・信頼される学校

SOS の出し方に関する教育、学校生活相談員・SC・SSW との連携

避難訓練のあとの振り返りと共有

健康・安全・防災教育の充実

- 危険予測・危険回避能力の育成
- 安全で安心できる学校環境の整備
- 望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力の育成
- 自ら進んで運動に取り組む資質の育成

【各種災害を想定した避難訓練を実施】
【体力テストA+B 50%】

信頼される学校づくり

- 学校情報の公開（HP、学年・学級通信）
- 学校評価の充実・改善
- 教員評価の充実推進
- 学校におけるコンプライアンスの確立
- ゲストティーチャー・地域人材の活用
- 保幼小中との連携

【HPの週3回以上の更新】

アンケート結果を生徒・学校生活向上改善

DO

関わり合い、学び合う授業（ペア・グループ学習の日常化）

学びの場の工夫
ひとりでも、誰かとも、みんなで学べる安心感

9年間を見通した「学力保証」
「成長保証」

問いから始まる学習課題の工夫

ねらいを明確にした対話・表現活動

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的事項の確実な定着
- 学習への主体的な取り組み
- 協働的な学びの育成
- 学びの活用力の育成

【全国学力学習状況調査及び学力診断のためのテスト
自分の考えを表現する力を問う設問の正答率 県平均以上】

【授業の中 自分の考えを自分なりの方法で表現することができる生徒の割合 75%以上】

「ICT」の日常的な活用（一人一台端末を文具の一つとして）

丁寧な振り返りの工夫

心の教育の充実

- いじめのない仲間づくり
- 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
- 自己有用感の醸成
- 20年後に生きる能力の育成（キャリア教育の視点）

【「心の教室」「Sルーム」を利用した居場所づくりの充実】
【「報告・連絡・相談・確認・記録」の徹底】

自分たちで考え工夫した係活動

発達段階に応じたつくばスタイル科の充実

PLAN

ACTION

家庭
（幼・保）

1～4年生

基本的生活習慣の習得
基礎・基本の定着

5～7年生

社会性の育成
基礎・基本の活用

8・9年生

自主的・実践的態度の育成
自ら学ぶ力の育成

社会へ
（高校）



令和7年度 高崎学園 つくば市立荊崎第一小学校 グランドデザイン

【茨城県教育目標】

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【校訓】

至誠（やさしく） 勤労（はたらく） 協和（みんなで）

【学校教育目標】

自ら学び考え 未来を切り拓く子どもの育成

【つくば市教育目標】

- みんなが幸せを実感できる学園学校・幼稚園
- 自己実現できる学校
- みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校

【高崎学園教育目標】

- ともに学び 心豊かに新時代をたくましく生きる
- 社会力をもった子どもの育成

【組織目標】

- 自他のよさを認め合い 支え合い 笑顔あふれる学級・学年づくり
- 自ら考え 他者と協働し 高め合う授業づくり

<めざす学校像>

- ・子どもが生き生きとした学校
 - ・職員のチームワークがある学校
 - ・保護者や地域に信頼される学校
- 子どもが中心

<めざす児童像>

- ・自ら学ぶ子
 - ・明るく思いやりのある子
 - ・元気でたくましい子
- 一人一人が幸せ

<めざす教師像>

- ・人間性豊かな教師（情熱、思い）
 - ・信頼される教師（誠実、謙虚）
 - ・行動し実践する教師（機動力）
- チームで対応

笑顔あふれる
荊崎第一小学校

「笑顔」

「達成感」

「場の設定」

「管理」から
「自己決定」へ

「教え」から
「学び」へ

「非認知能力
の再確認」へ

自ら学ぶ子

○新たな問いへとつながる学びの工夫

- ・単元全体を通しての授業構想
- ・1単位時間のねらいの明確化（ゴールの姿をイメージ）
- ・ユニバーサルデザイン化の推進
- ・個別双方向の学びの推進（試行錯誤、アウトプット、振り返りの充実）

○ワクワク感を与える指導の工夫

- ・児童にワクワク感を与える課題提示
- ・考え続ける場面の設定
- ・伝え合い、深める活動の充実
- ・児童が楽しいと感じる授業の実践

○家庭学習を習慣化させる指導の充実

- ・計画と実践の見通しをもった取組の工夫（計画表作成、学年×10分以上）
- ・自主学習の具体的例示による指導

○自律型学習の推進

- ・一人一台端末の効果的な活用
- ・個に応じた学び方の工夫促進

- ・授業が分かると感じる児童 85%
- ・対話的な学びで考えを深めている児童 80%
- ・家庭学習を工夫できる児童 80%

明るく思いやりのある子

○自己肯定感・自己有用感の育成

- ・向上心、好奇心をもたせる指導の充実
- ・仕組んで認めて伸ばす指導の推進
- ・合意形成を大切にした特別活動の推進
- ・挑戦が称賛される学級・学年づくり

○よりよいコミュニケーション能力の育成

- ・学年に応じたあいさつの意識化と推進
- ・教職員による声かけ、心かけの推進
- ・協働のよさを味わえる授業づくり
- ・異学年及び学園内交流活動の充実
- ・居心地のよい学級づくり

○心に響く道徳教育の推進

- ・「考え、議論する道徳」の実践
- ・自己と向き合う時間と場の設定
- ・人権教育の充実によるいじめ未然防止
- ・読書活動の量的、質的充実

- ・自分にはよいところがあると感じている児童 85%
- ・気持ちのよい挨拶ができる児童 80%

元気でたくましい子

○進んで運動に取り組もうとする態度の育成

- ・外遊びの奨励と職員による共遊
- ・体力テストの結果を生かした体づくり
- ・運動量を確保した体育授業の実践

○危険予測・回避能力の育成

- ・様々な災害や場面を想定した実効性のある避難訓練等の実施
- ・交通安全教室の実施
- ・情報モラル教育や薬物乱用防止教室
- ・SOSの出し方教室の実施

○望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力の育成

- ・栄養教諭による食に関する指導の充実
- ・朝食摂取100%に向けての取組推進
- ・保護者との連携強化による食習慣の形成

○基本的生活習慣の確立と健康意識の向上

- ・ルールメイキング、黙働清掃
- ・養護教諭による保健指導の充実
- ・感染症対策の日常化

- ・外遊びを進んでしている児童 80%
- ・体力テストA+Bの割合 前年比 -2%
- ・校内事故の前年比 減少

保護者・地域とともに歩む学校

○教育活動の積極的な情報発信

- ・ホームページの更新
- ・各種たよりの発行
- ・スクリレの積極的活用

○保護者・地域との連携・協働

- ・読み聞かせ、はやぶさ教室
- ・交通安全、防犯パトロール
- ・地域人財や教材の活用
- ・コミュニティスクール推進

○学校評価の充実、改善と

- 校内コンプライアンスの確立
- ・2回の学校評価の実施
- ・職員の資質能力の向上
- ・ボトムアップ型研修の充実

○働き方改革の推進

- ・職員の連携によるパフォーマンス向上
- ・保護者・地域への理解推進